

## 令和 4 年度川崎市自動車運送事業会計決算概況

### （総括事項）

市バス事業は、市民の大切な公共交通機関として重要な役割を果たしており、安全を第一の使命としつつ、お客様に満足いただける利用しやすいサービスの提供を行うとともに、経営基盤の強化に努めております。

令和 4 年度の経営状況について、乗車人員が見込より回復したことや、令和 4 年 10 月 1 日に料金改定を実施したことにより乗車料収入が増加したこと、また、北部地域における営業所の統合や運行計画の見直しにより人件費が減少したこと等により、収益的収支としては対前年度比較で緩やかに改善しました。

しかしながら、今後についても社会変容等の影響により乗車人員が新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準まで回復が見込めないことや、燃料価格をはじめとした物価の上昇などにより、依然として厳しい事業環境が見込まれるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による減収への対応として発行した特別減収対策企業債の償還や、営業所の老朽化対策、バス車両の更新台数の増加等で多くの資金が必要となることから、厳しい経営状況が見込まれます。

こうした中においても、公共交通や公営バスとしての意義、役割を果たし、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、「川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）」に基づき、利便性の向上や運行の効率化に向けた運行計画の見直し、業務の効率化等を推進し、持続可能な経営基盤の構築に取り組みます。

### （運輸成績）

事業の根幹である乗車料収入は、乗合乗車料収入と貸切乗車料収入を合わせ 73 億 2,155 万 1,138 円で、前年度と比較して 3 億 8,207 万 9,128 円の増、乗車人員は 4,236 万 3,065 人で、前年度と比較して 166 万 1,122 人の増となりました。

### （安全、安心な輸送サービスの確保）

事故防止に向け、自転車の側方通過や、夜間走行の危険性等を体験する運転手実技研修について、実施回数を増やすとともに、対象者を拡大して実施しました。

小学生や高齢者に向けた安全啓発の取組として、バス車両の機能や特性、様々な方が利用していることなどを説明することで、安全意識を高め、バリアフリーの大切さを学んでもらう交通安全・バリアフリー教室を実施しました。

ドライブレコーダーを計画的に更新するとともに、更新に合わせてカメラ数を増設する等、更なる安全、安心を確保するための取組を実施しました。

### （快適で利用しやすいサービスの提供）

新型コロナウイルス感染防止対策として、車内換気や、全バス車両への抗ウイルス・抗菌コーティングを実施しました。

分かりやすい案内サービスの提供として、主要駅のりば案内や市バスの路線図を掲載した「かわさき市バスマップ」を作成しました。

お客様の利便性向上に向けて、「遅延証明」及び「距離証明」を WEB 上から取得できるサービスを開始しました。

### （市バスネットワークの形成）

「川崎市地域公共交通計画」において長大路線として、運行の効率化を推進すべき路線に位置づけられている溝口駅南口から柿生駅前を結ぶ路線について、利用動向や民間事業者との重複状況を踏まえ、新百合ヶ丘駅接続に集約し、各地域の利便性を確保した上で運行の効率化を図る再編を実施しました。

また、川崎駅～水江町への民間バス事業者による連節バスの導入を契機として、地域の移動需要を支える市バスの役割や利用実態を踏まえ、川崎南部エリアの運行の効率化や地域の利便性向上を図る路線再編を実施しました。

### **（経営基盤の強化）**

北部地域の輸送サービスを支える鷲ヶ峰営業所と菅生車庫については、菅生車庫の全ての営業所機能を鷲ヶ峰営業所へ統合し、事業規模に応じた効率的な運営を行いました。

持続可能な経営に向けて、運行計画の見直しによる時間外勤務の縮減などにより総人件費の抑制に取り組みました。

計画的に整備を進めてきた上平間営業所については、給油所改築工事を実施し、建替整備を完了しました。

事業基盤を支える人材については、正規職員の退職動向を踏まえた計画的な採用を実施するとともに、全国的にバス運転手が不足している状況を踏まえ、大型自動車第二種免許を保有していない若年層を対象とした運転手（養成枠）の採用選考を行いました。

運転中の心臓疾患、大血管疾患及び脳血管疾患の発症を予防し、疾病の早期発見、治療につなげるため、運転手を対象とした心臓疾患、大血管疾患対策検査及び脳健診を実施しました。

広告事業については、ラッピングバス広告や車内音声広告、車内額面広告等の取扱いにより、広告収入を確保しました。

### **（経営成績）**

収益的収支は、事業収益 94 億 4,444 万 8,993 円に対して、事業費用は 92 億 4,236 万 8,567 円で収支差引は 2 億 208 万 426 円の黒字となり、消費税等を除いた収支差引では、1 億 6,878 万 8,201 円の純利益となりました。この結果、令和 4 年度未処理欠損金は 38 億 9,208 万 3,654 円となりました。財源収支については、1 億 4,506 万 3,694 円の資金余剰となりました。

#### **【問合せ先】**

川崎市交通局企画管理部経理課 牛島  
電話 044-200-3203

## 令和4年度川崎市自動車運送事業会計決算総括表

### (収益的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	税 抜 処 理 後 純 損 益	前 年 度 繰 越 損 益	当 年 度 未 処 理 損 益
決 算 額	9,444,448,993	9,242,368,567	202,080,426	168,788,201	△ 4,060,871,855	△ 3,892,083,654
執 行 率	101.0	93.9	-	-	-	-

### (資本的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	補てん財源等				再差引
				繰 越 工 事 資 金	損益勘定 留保資金	前年度財源 充 当 額	その他	
予算現額	1,100,247,000	1,771,059,000	△ 670,812,000	-	-	-	670,812,000	0
決 算 額	386,031,349	1,039,081,004	△ 653,049,655	-	400,964,430	-	252,085,225	0
執 行 率	35.1	58.7	-	-	-	-	-	-

## 令和4年度 自動車運送事業会計決算(見込)のポイント

		令和4年度決算	令和3年度決算	増△減額	増△減率	備 考
1	収益的収入	94億4,400万円	87億2700万円	7億1,700万円	8.2%	
主な収入	乗車料収入	79億1,500万円	74億9,300万円	4億2,200万円	5.6%	乗車人員 166万人の増 (4年度 4,236万人、3年度 4,070万人)
	他会計補助金 負担金	11億5,300万円	8億7,900万円	2億7,400万円	31.0%	一般会計補助金等の増
2	収益的支出	92億4,200万円	92億3,300万円	900万円	0.1%	
主な支出	人件費	43億9,900万円	46億 600万円	△2億 700万円	△4.5%	時間外勤務手当等の減
	経費	38億7,500万円	37億1,000万円	1億6,500万円	4.4%	燃料費等の増
3	純損益(税抜)	1億6,800万円 (純利益)	△5億8,000万円 (純損失)	7億4,800万円	-	
4	資本的収入	3億8,600万円	7億5,400万円	△3億6,800万円	△48.9%	
主な収入	企業債	3億6,700万円	6億2,100万円	△2億5,400万円	△40.9%	乗合自動車購入費等にかかる企業債の減
5	資本的支出	10億3,900万円	13億3,800万円	△2億9,900万円	△22.4%	
主な支出	建設改良費	3億6,400万円	8億2,400万円	△4億6,000万円	△55.8%	乗合自動車購入費等の減
6	資金不足比率	- (資金不足となっていない)	- (資金不足となっていない)			財政健全化法における経営健全化基準 20%

※金額については、百万円未満を切り捨てにより端数処理